

<有限会社トップゼミ青葉塾> × <株式会社すららネット> <すらら利用による苫小牧学力向上事業>

様式第2号

プロジェクト概要

背景/課題

- ・ 苫小牧市における子供の学力は、市をあげて学力向上に取り組んでおり改善が見られるものの、まだ全国平均を下回っており民間事業者も含めたオール苫小牧で子供たちの学力向上に取り組まなければなりません。また、現在の子供たちの学びのバックグラウンドは千差万別であり、子供たちの多様な個性や能力に寄り添い、伸ばしていくための新たな学びの形が求められています。さらに、生徒一人一人の学習管理を徹底していくためにも、学習情報の「見える化」を推進していく必要があります。
- ・ 変化の激しい時代を生き抜くために必要な学力を、どのように様々な子供たちに身につけさせるのかという課題があります。この課題に対し、ICT教材を活用することで、子供たちの個性や能力を伸ばしていけるのではないかと考えています。また、塾生の学習管理や保護者とのコミュニケーションが十分ではなく、家庭と塾が一体となって生徒のバックアップが上手く出来ていないという課題もあります。この課題に対し、生徒の学習管理や学習情報の「見える化」を強化することで解決できるのではないかと考えています。

事業内容/期待効果

- ・ ①「すらら教室」開校。②すららでデータ集計・提供可
③不登校など様々な子供に「学びの場」を提供④「個人別カリキュラム」による地域の学力アップ⑤現塾生にもIDを配布し学力アップ⑥新たなイノベーションが教育にもたらす可能性の検証
- ・ ①この実証事業で新たなコンテンツを加えることにより従来は指導が難しかった生徒へ「学習の場」が提供可能となる。②この実証事業により、新たなAIを使ったコンテンツへの同業他社の意識も高まる。参加したすべての生徒の学力、学習に対する意欲、取り組み方の向上。③この実証事業に参加したすべての生徒の学習管理、保護者との連携が強化される。

事業イメージ(全体像)

